

2017年7月14日
株式会社みずほ銀行

サウジアラビア国営水道公社 (National Water Company) との アドバイザー契約の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、2017年7月11日、サウジアラビア王国（以下、「サウジアラビア」）の国営水道公社（National Water Company、以下、「NWC」）と下水道施設の民営化プロジェクトに関するアドバイザー契約（以下、「本契約」）を締結しました。

NWCは、サウジアラビアにおいて配水・下水処理等を担う公社です。近年、サウジアラビアは、化石燃料等資源依存の経済構造から脱却すべく、国家プロジェクト「Saudi Vision 2030」を掲げ、産業の多角化・民営化の推進をしています。水分野についても、都市部を中心に急速に人口が増加している状況下、下水道施設を含む水処理の安定運営供給が重要課題となっており、NWCは、民営化推進による財政負担削減や運営の高度化について、さまざまな検証を進めています。

本件は、下水道施設をBOT方式（「Build、Operation and Transfer方式」の略、※）によるプロジェクト化を想定している案件であり、サウジアラビアにおける民営化推進のモデルケースとして重要な案件です。また、本件はNWCにとって、Saudi Vision 2030にそった、最初の民営化案件となる予定であり、今後の水分野における民営化促進の観点においても、重要な案件の一つと考えられています。

本契約により、〈みずほ〉は、NWCに対し、官民連携ノウハウ、産業面、金融面等の知見提供を行っていきます。具体的には、〈みずほ〉は、フィナンシャルアドバイザーとしての役割に加え、リードアドバイザーとして、他のリーガルアドバイザー、テクニカルアドバイザーと協働し、サウジアラビアにおける下水道民営化プロジェクト3案件のアドバイスをを行います。

〈みずほ〉は、サウジアラビアに拠点を持つ唯一の邦銀です。2009年11月の拠点開設以来、当地にてアドバイザービジネスを始めとした総合金融サービスを提供しています。〈みずほ〉は、日系企業等の海外進出をさらに支援していくとともに、日本・サウジアラビア両国の発展に貢献していきます。

※ BOT方式：民間企業が、独自に調達した資金で、一定の事業期間中、公共施設を建設・維持管理・運営し、期間終了後に公共へ所有権を移転する方式

以 上